

## 2. 各種管材寸法図(参考)

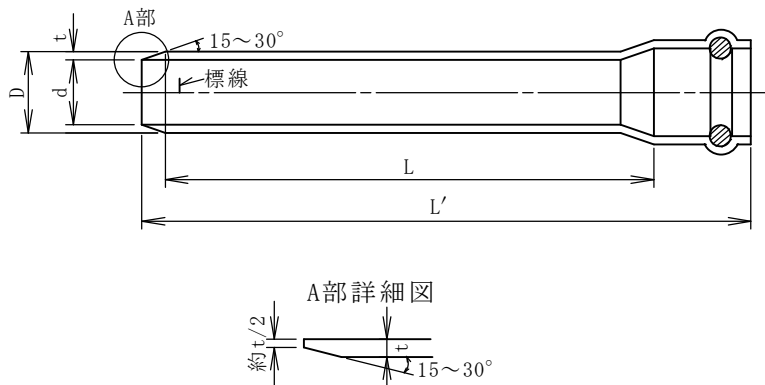
# 管 材 目 次

図面番号	図 面 名 称	
1	下水道用硬質塩化ビニル管寸法表	
2	硬質塩化ビニル管寸法表	
3	下水道用硬質塩化ビニル管(曲管)寸法表	
4	硬質塩化ビニル管(曲管)寸法表	
5	下水道用硬質塩化ビニル管(マンホール継手及びカラー)寸法表	
6	下水道用硬質塩化ビニル管(外副管用マンホール継手及び支管)寸法表	
7	下水道用硬質塩化ビニル管(内副管用マンホール継手)寸法表	
8	硬質塩化ビニル管(マンホール継手)寸法表	
9	下水道用硬質塩化ビニル管(LT管、DT管、曲管)寸法表	
10	下水道用硬質塩化ビニル管(支管)寸法表	
11	下水道用硬質塩化ビニル管(可変継手、ヤリトリ継手、オスキャップ、媒介継手、陶管継手)寸法表	
12	小口径管推進工法用塩化ビニル管寸法表	
13	下水道用強化プラスチック複合管寸法表	
14	遠心力鉄筋コンクリート管(B形)寸法表	
15	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管(標準管)寸法表	
16	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管(ゴム輪、クッション材の形状)寸法表	
17	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管(中押管)寸法表	
18	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管(中押管S)寸法表	
19	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管(中押管T)寸法表	
20	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管詳細寸法表	
21	小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管寸法表(1)	
22	小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管寸法表(2)	
23	小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管(ゴム輪、クッション材の形状)寸法表	
24	厚陶管(直管)及びA型圧縮ジョイント寸法表	
25	下水道用硬質塩化ビニル管(取付管用曲管)寸法表	
26	下水道用硬質塩化ビニル管(90° 自在支管)寸法表	

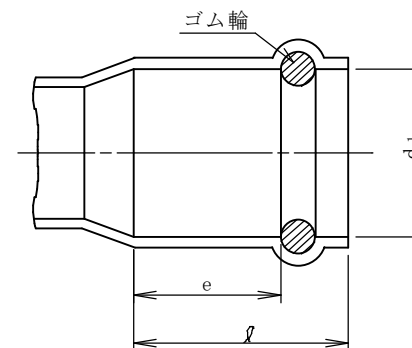
# 下水道用硬質塩化ビニル管寸法表

(直管呼び100~600)

## 直管部寸法



## ゴム輪受口寸法



## ゴム輪受口寸法

## 直管部寸法

呼び	外径 (mm)		管厚 (mm)		近似内径 d (mm)	長さ L (mm)	長さ L' (mm)	重量 (Kg/m)
	D	許容差	t	許容差				
100	114	± 0.4	3.1	+ 0.8	107	4000 ± 15	4145	1.737
150	165	± 0.5	5.1	+ 0.8	154	4000 ± 15	4165	3.941
200	216	± 0.7	6.5	+ 1.0	202	4000 ± 15	4150	6.572
250	267	± 0.9	7.8	+ 1.2	250	4000 ± 15	4170	9.758
300	318	± 1.0	9.2	+ 1.4	298	4000 ± 15	4190	13.701
350	370	± 1.2	10.5	+ 1.4	348	4000 ± 15	4215	18.051
400	420	± 1.3	11.8	+ 1.6	395	4000 ± 15	4280	23.059
450	470	± 1.5	13.2	+ 1.8	442	4000 ± 15	4310	28.875
500	520	± 1.6	14.6	+ 2.0	489	4000 ± 15	4330	35.346
600	630	± 3.2	17.8	+ 2.8	592	4000 ± 15	4385	52.679

呼び	受口内径 d1	接合長さ e	受口長さ l
	最小 (mm)	最小 (mm)	最大 (mm)
100	114.5	42	145
150	165.7	47	165
200	216.9	52	185
250	268.1	57	205
300	319.3	62	225
350	371.5	67	240
400	421.7	72	260
450	471.9	77	285
500	522.1	82	305
600	633.8	93	355

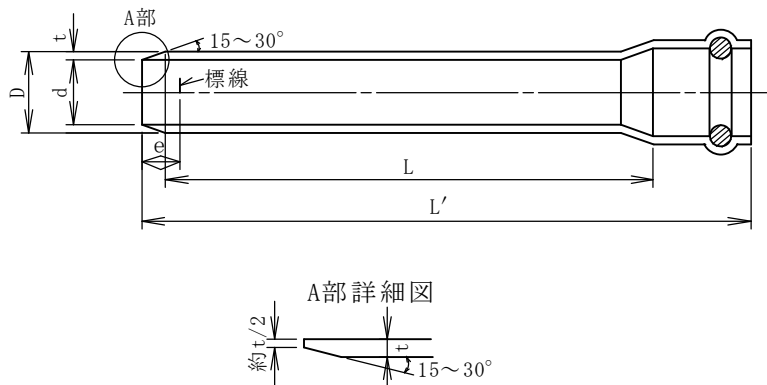
- (注) 1. 外径Dとは、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値の平均値  
 2. 表中1m当りの質量は、比重1.43で計算したものである。  
 3. 上表は、JSWAS K-1による。  
 4. 材料の品質形状については、JIS K6741とする。

- (注) 1. 波線で示す形状にすることもできる。  
 2. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は規定しない。  
 3. 受口内径 d1は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。  
 4. 上表は、JSWAS K-1による。

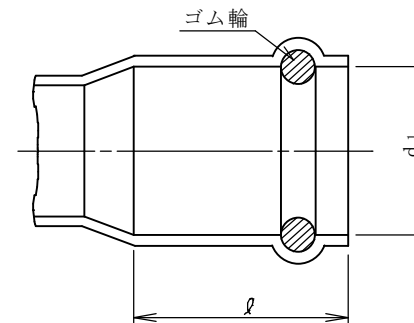
# 硬質塩化ビニル管寸法表

(直管呼び100~500)

## 直管部寸法



## ゴム輪受口寸法



## 直管部寸法

単位(mm)

呼び径	外径 D	外径の許容差		厚さ		近似内径 d	有効長 L	長さ L'	重量 (Kg/本)
		最大 最小	平均	最小 t	許容差				
100	114	± 0.6	± 0.4	6.6	+ 1.0	100	5000	5143	18.0
150	165	± 1.0	± 0.5	8.9	+ 1.4	146	5000	5163	35.7
200	216	± 1.3	± 0.7	10.3	+ 1.4	194	5000	5191	54.0
250	267	± 1.6	± 0.9	12.7	+ 1.8	240	5000	5210	82.0
300	318	± 1.9	± 1.0	15.1	+ 2.2	286	5000	5230	116.8
350	370	—	± 1.2	14.3	+ 2.0	339	5000	5242	129.9
400	420	—	± 1.3	16.2	+ 2.2	385	5000	5255	166.8
450	470	—	± 1.5	18.1	+ 2.6	431	5000	5274	210.5
500	520	—	± 1.6	20.0	+ 2.8	477	5000	5287	257.9

- (注) 1. 最大・最小外径とは、任意箇所における外径測定値のうち最大値と最小値をいう。  
 2. 平均外径とは、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値の平均値  
 3. 質量は参考であり、数値は比重1.43で計算したものである。  
 4. 上表は、JIS K6741による。

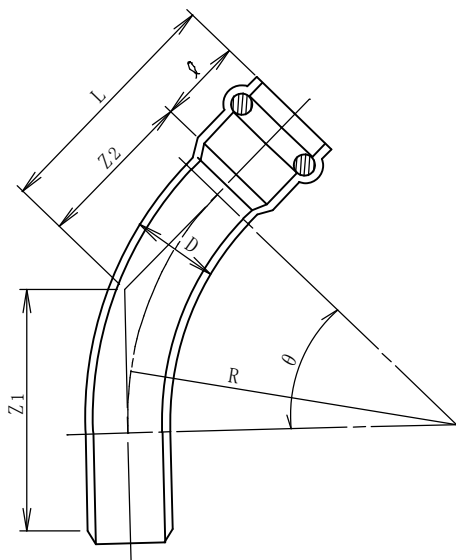
## ゴム輪受口寸法 単位(mm)

呼び径	平均内径 d <sub>1</sub> 最小値	有効挿入長さ e 最小値	受口長さ l 最大値
100	115.3	132	130
150	166.6	152	145
200	218.0	180	170
250	269.3	199	185
300	320.7	219	200
350	373.0	231	215
400	423.4	244	225
450	473.7	263	240
500	524.1	276	250

- (注) 1. 平均内径とは、受口の任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の内径測定値の平均値をいう。  
 2. 受口及びゴム輪の形状は、規定しない。  
 3. 上表は、JIS K-6741による。

## 下水道用硬質塩化ビニル管(ベンド)寸法表

ゴム輪受口片受ベンド



単位(mm)

形状	呼び径	L	Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>
5 5/8° ベンド	150	306	300	150
	200	285	300	150
	250	355	400	200
	300	370	450	200
	350	560	515	425
	400	645	570	505
	450	674	620	525
	500	710	670	555
11 1/4° ベンド	150	306	300	150
	200	335	350	200
	250	405	450	250
	300	420	500	250
	350	605	585	470
	400	700	650	560
	450	744	710	595
	500	785	770	630
22 1/2° ベンド	150	356	350	200
	200	385	450	250
	250	505	550	350
	300	570	650	400
	350	745	725	610
	400	870	825	730
	500	1000	985	845

単位(mm)

形状	呼び径	L	Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>
45° ベンド	150	456	450	300
	200	535	600	400
	250	705	750	550
	300	820	900	650
	350	1070	1025	935
	400	1265	1190	1125
	450	1369	1315	1220
	500	1480	1435	1325
90° ベンド	150	756	750	600
	200	935	1000	800
	250	1305	1350	1150
	300	1520	1600	1350
	350	1880	1845	1745
	400	2250	2185	2110
	450	2474	2425	2325
500	—	—	—	

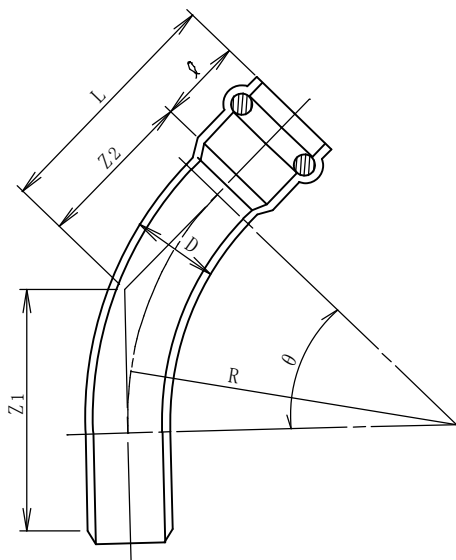
(参照) 単位(mm)

形状	呼び径	D	R	ℓ
各ベンド 共通	150	165	500	156
	200	216	700	135
	250	267	1000	155
	300	318	1200	170
	350	370	1400	135
	400	420	1700	140
	450	470	1700	149
500	520	2100	155	

- (注) 1. 使用原管はJIS K 6741 VU管である。  
 2. Dの許容差±8%、Lの許容差±10%、Zの許容差±10%とする。  
 3. 寸法については参考値である。

## 硬質塩化ビニル管(ベンド)寸法表

ゴム輪受口片受ベンド



単位 (mm)

形状	呼び径	L	Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>
5 5/8° ベンド	100	205	220	75
	150	245	262	100
	200	290	355	120
	250	325	400	140
	300	350	445	150
11 1/4° ベンド	100	220	235	90
	150	270	284	125
	200	320	385	150
	250	360	435	175
	300	395	485	195
22 1/2° ベンド	100	250	265	120
	150	315	330	170
	200	380	445	210
	250	430	505	245
	300	480	575	280

単位 (mm)

形状	呼び径	L	Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>
45° ベンド	100	315	329	185
	150	410	426	265
	200	510	575	340
	250	580	655	395
	300	660	755	460
	90° ベンド	100	490	505
90° ベンド	150	675	690	530
	200	860	925	690
	250	990	1065	805
	300	1160	1255	960

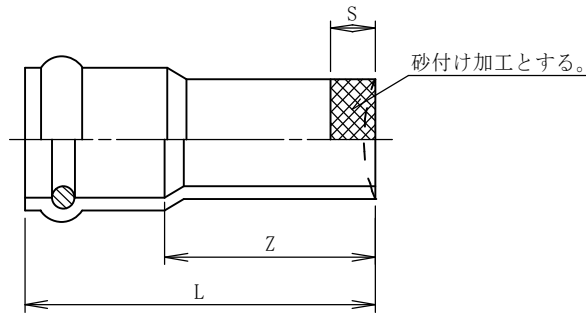
(参照) 単位 (mm)

形状	呼び径	D	R	ℓ
各ベンド 共通	100	114	300	130
	150	165	450	145
	200	216	600	170
	250	267	700	185
	300	318	850	200

- (注) 1. 使用原管はJIS K 6741 VP管である。  
 2. Dの許容差±8%、Lの許容差±10%、Zの許容差±10%とする。  
 3. 寸法については参考値である。

## マンホール継手及びカラー(下水道用硬質塩化ビニル管)寸法表

上流用マンホール継手  
(ゴム輪受口)

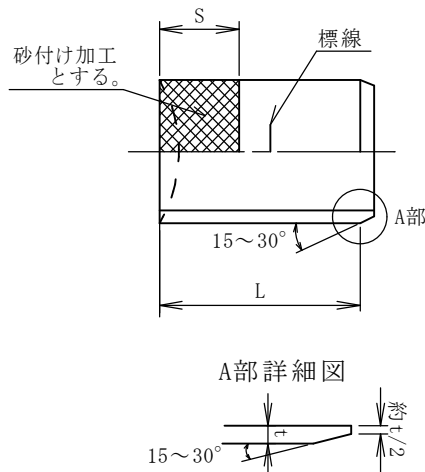


単位 (mm)

呼び径	L	Z	S
100	637	500 ± 15	200
125	645		
150	656		
200	635		250
250	655		
300	670		
350	695		
400	755		300
450	780		
500	800		350
600	845		

(注) 1. マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。  
2. 受口は本管形とする。

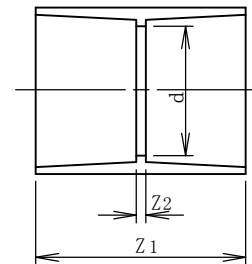
下流用マンホール継手



単位 (mm)

呼び径	L	S
100	500 ± 15	200
125		
150		
200		250
250		
300	1000 ± 15	300
350		
400		350
600		

接着受口カラー  
(略号WTB)



単位 (mm)

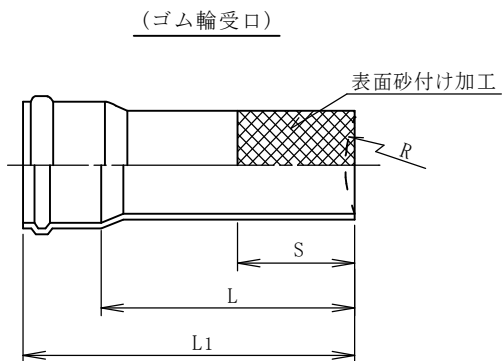
呼び径	Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>	d
75	84	4	83
100	105	5	107
125	135	5	131
150	165	5	154
200	235	5	202
250	276	5	250
300	307	5	298

(注) 1. Z<sub>1</sub>の許容差は、呼び径75~150は±10mm、  
呼び径200~300は±20mmとする。  
2. Z<sub>2</sub>の許容差は、±2mmとする。

(注) 1. マンホールの内径に合わせて、  
破線で示す形状にすることもできる。

## 下水道用硬質塩化ビニル管(外副管用マンホール継手及び支管) 寸法表

副管用マンホール継手

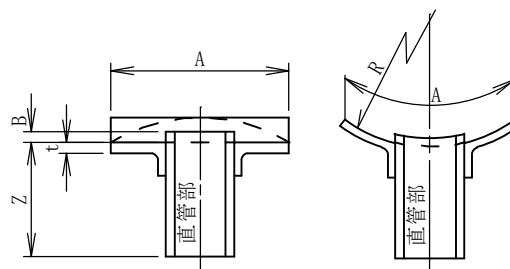


単位 (mm)

呼び径	L	L1	S
150	1000 ± 15	1156	200
200		1135	250
250		1155	
300		1170	
350		1195	
400		1255	300
450	1280		
500	1300		
600	1345	350	

(注) 1. マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。  
 2. 受口は本管形とする。

副管用90° 支管

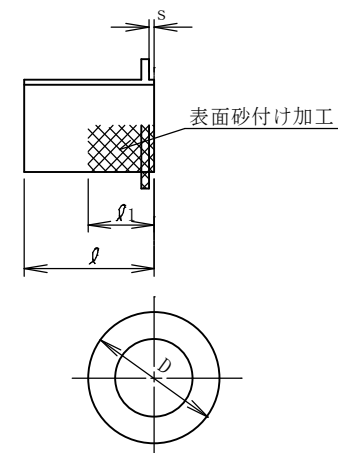


単位 (mm)

呼び径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R
200×150	140	4	300	6.5	108.0
250×150	140	4	300	7.8	133.5
250×200	160	4	300	9.2	159.0
300×150	140	4	300	10.5	185.0
300×200	160	4	300	11.8	210.0
350×150	140	4	300	13.2	235.0
350×200	160	4	300		
400×200	160	4	300		
400×250	200	4	300		
450×200	160	4	300		
450×250	200	4	300		

(注) 1. Zの許容差は±10mmとする。  
 2. Rは標準値を示す。  
 3. 直管部の寸法は別図、直管部寸法(共通)による。  
 4. 波線で示す形状にすることもできる。  
 5. 上表は、JSWAS K-1による。

陶管継手(枝付管用支管)副管用 — [鹿児島市型]



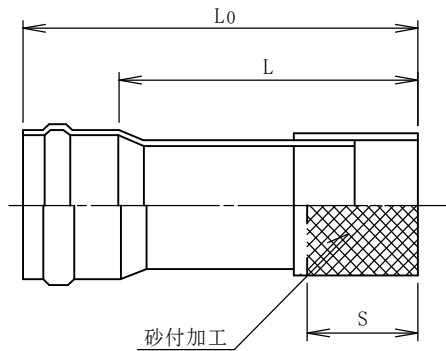
単位 (mm)

呼び径	D	l1	l	s
150	202	80	212	4
200	262	80	280	4

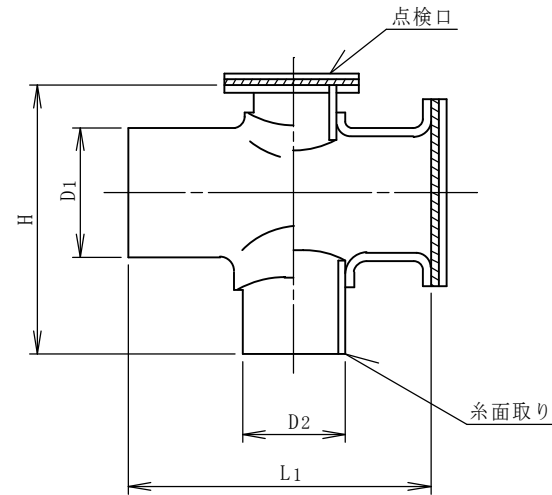


## 下水道用硬質塩化ビニル管(内副管用マンホール継手)寸法表

副管用マンホール継手



内副管用十字管



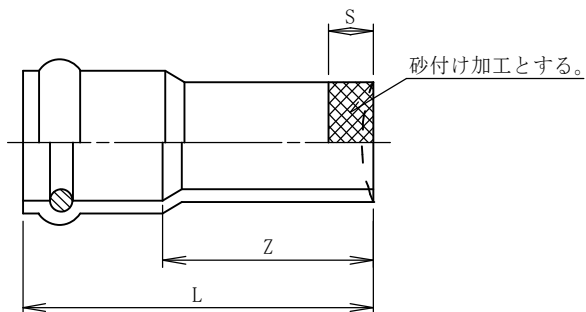
単位 (mm)

マンホール継手				十字管				
管径	L <sub>0</sub>	L	S	管径	L <sub>1</sub>	H	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>
150	656	500	200	150×150	395	365	165	165
200	635	500	250	200×150	430	416	216	165
				200×200	480	436	216	216
250	655	500	250	250×200	505	487	267	216
				250×250	555	522	267	267

(注) 1. 内副管用十字管については参考図とする。

# マンホール継手(硬質塩化ビニル管)寸法表

上流用マンホール継手  
(ゴム輪受口)

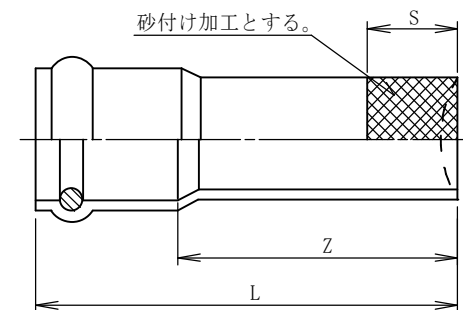


単位 (mm)

呼び径	Z	L	S
100	500 ± 15	637	200
125		645	
150		656	
200		635	250
250		655	
300		670	
350	695	300	
400	755		
450	780		
500	800		

- (注) 1. マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。  
2. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は規定しない。

副管用マンホール継手  
(ゴム輪受口)

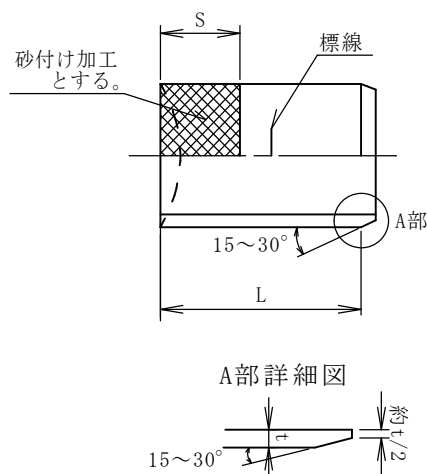


単位 (mm)

呼び径	Z	L	S
150	1000 ± 15	1145	200
200		1170	
250		1185	
300		1200	250
350		1215	
400		1225	
450	1240	300	
500	1250		

- (注) 1. マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。  
2. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は規定しない。

下流用マンホール継手

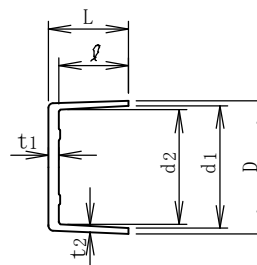


単位 (mm)

呼び径	L	S
100	500 ± 15	200
125		
150		
200		250
250		
300		
350	1000 ± 15	300
400		
450		
500		

- (注) 1. マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。

キャップ



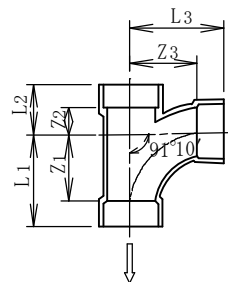
単位 (mm)

呼び径	d1	公差	d2	公差	l	公差	D	L	t1	t2
100	114.55	0.30	113.55	±0.30	50	±1.0	122.625	54.20	4.50	4.10
150	165.85	0.40	164.25	±0.40	80		176.000	85.20	5.44	5.44

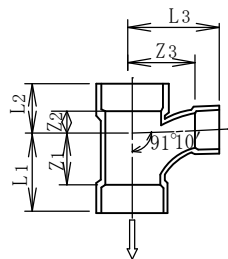
- (注) l, d1, d2, l は基本寸法を示す。

## 下水道用硬質塩化ビニル管 (LT管、DT管、曲管) 寸法表

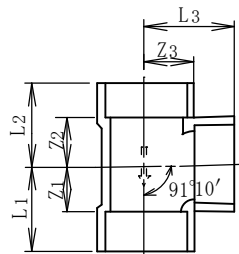
90°大曲がりY (LT)



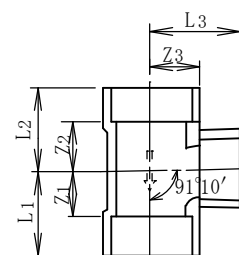
径違い90°大曲がりY (LT)



90°曲がりY (DT)



径違い90°曲がりY (DT)



単位 (mm)

呼び径	Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>	Z <sub>3</sub>	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>
100	128	45	128	178	95	178
※150	170	65	170	252	147	252

- (注) 1. Z<sub>1</sub>、Z<sub>2</sub>、Z<sub>3</sub>の許容差は±2mmとする。  
 2. 流れ角度91° 10' の許容差は±30' とする。  
 3. L<sub>1</sub>、L<sub>2</sub>、L<sub>3</sub>は標準寸法を示す。  
 4. 上表は、JIS K6739による。  
 ただし、※印はメーカー規格

単位 (mm)

呼び径	Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>	Z <sub>3</sub>	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>
150×100	128	53	152	208	133	202

- (注) 1. Z<sub>1</sub>、Z<sub>2</sub>、Z<sub>3</sub>の許容差は±2mmとする。  
 2. 流れ角度91° 10' の許容差は±30' とする。  
 3. L<sub>1</sub>、L<sub>2</sub>、L<sub>3</sub>は標準寸法を示す。  
 4. 上表は、JIS K6739による。

単位 (mm)

呼び径	Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>	Z <sub>3</sub>	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>
150	88	88	88	167	167	167
200	115	115	115	225	225	225
250	150	150	150	280	280	280

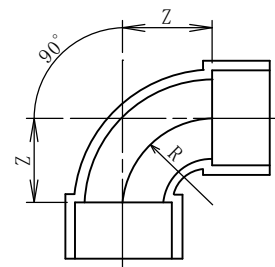
- (注) 1. Z<sub>1</sub>、Z<sub>2</sub>、Z<sub>3</sub>の許容差は±2mmとする。  
 2. 流れ角度91° 10' の許容差は±30' とする。  
 3. 流れ方向を示す矢印を図のように外側に突き出しにする。  
 4. L<sub>1</sub>、L<sub>2</sub>、L<sub>3</sub>は標準寸法を示す。

単位 (mm)

呼び径	Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>	Z <sub>3</sub>	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>
150×100	62	62	89	142	140	140
200×150	88	88	118	198	198	198
150×100	86	94	145	217	225	209
250×200	114	114	140	244	244	240

- (注) 1. Z<sub>1</sub>、Z<sub>2</sub>、Z<sub>3</sub>の許容差は±2mmとする。  
 2. 流れ角度91° 10' の許容差は±30' とする。  
 3. 流れ方向を示す矢印を図のように外側に突き出しにする。  
 4. L<sub>1</sub>、L<sub>2</sub>、L<sub>3</sub>は標準寸法を示す。

90°曲管 (副管および排水設備用)

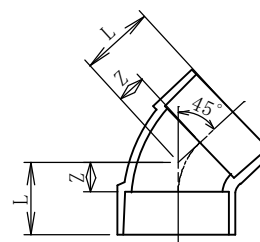


単位 (mm)

呼び径	Z	R
100	128	128
150	170	170
200	196	196
250	225	225
300	250	250

- (注) 1. Zの許容差は±15mmとする。  
 2. 上表は、JSWAS K-1による。

45°曲管

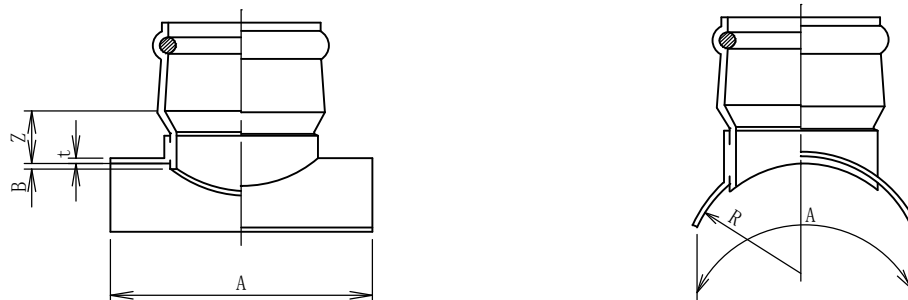


単位 (mm)

呼び径	Z	L
150	44	124
※200	54	164
※250	68	196

- (注) 1. Zの許容差は±2mmとする。  
 2. Lは標準寸法を示す。  
 3. 上表は、JIS K6739による。  
 ただし、※印はメーカー規格

## 下水道用硬質塩化ビニル管(支管)寸法表



硬質塩化ビニル管用支管(取付管用)

単位(mm)

呼び径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R	呼び径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R
150-100	45	4	230	5.1	82.5	400-100	45	4	300	11.8	210
200-100	45	4	300	6.5	108	400-150	50				
200-150	50					400-200	50				
250-100	45	4	300	7.8	133.5	450-100	45	4	300	13.2	235
250-150	50					450-150	50				
250-200	50					450-200	50				
300-100	45	4	300	9.2	159	500-100	45	4	300	14.6	260
300-150	50					500-150	50				
300-200	50					500-200	50				
350-100	45	4	300	10.5	185	600-100	45	4	300	17.8	315
350-150	50					600-150	50				
350-200	50					600-200	50				

鉄筋コンクリート管・陶管用支管(取付管用)

単位(mm)

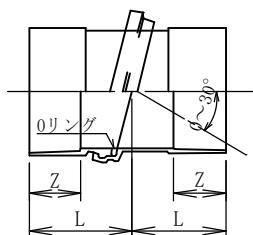
呼び径	Z	t	A	B	R
150-100	45	5	225	20	101
200-100	45	5	225	20	127
200-150	50		275		
250-100	45	5	225	20	153
250-150	50		275		
300-100	45	5	225	20	180
300-150	50		275		

(注) 1. Zの許容差は±15mmとする。

- (注) 1. Zの許容差は±15mmとする。  
 2. Rは標準値を示す。  
 3. 波線で示す形状にすることもできる。  
 5. 上表は、JSWAS K-1による。

# 下水道用硬質塩化ビニル管(可変継手、ヤリトリ継手、オスキャップ、媒介継手、陶管用継手)寸法表

## 可変継手(0~30°)

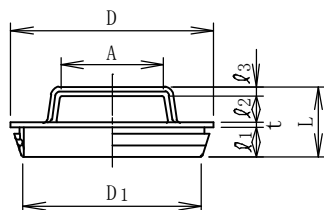


単位(mm)

呼び径	Z	L
100	50	95
150	80	132.5

(注) 1. 上記寸法は、参考値である。

## オスキャップ(止水形：VU)

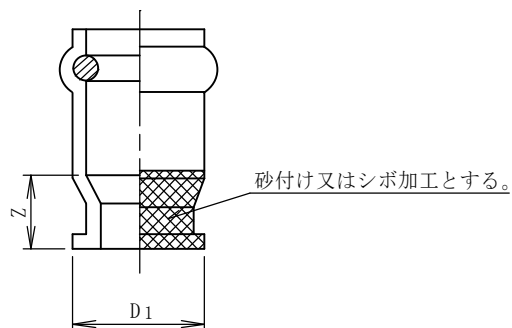


単位(mm)

呼び径	D	D1	L	l1	l2	l3	t	A
150	165	151	70	25	30	10	5	97
200	216	196						110
300	318	292						110

(注) 1. 上記寸法は、参考値である。

## 陶管用継手

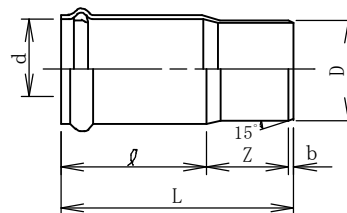


単位(mm)

呼び径	D1	Z
100	138	70
125	168	70
150	198	80
200	248	80

(注) 1. D1の許容差は±5mmとする。  
 2. Zの許容差は±15mmとする。  
 3. 受口は、取付け管形とする。  
 4. 上記寸法は、参考値である。

## ヤリトリ継手

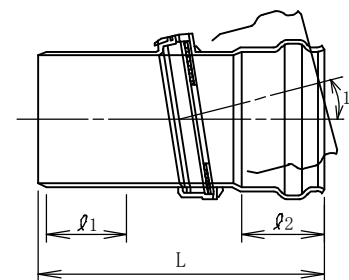


単位(mm)

呼び径	d	D	l	Z±10	L	b
100	115.5	114	209	125	340	6
150	166.5	165	270	155	435	10
200	218.6	216	308	180	500	12

(注) 1. 上記寸法は、参考値である。

## 可変継手(0~15°)本管用

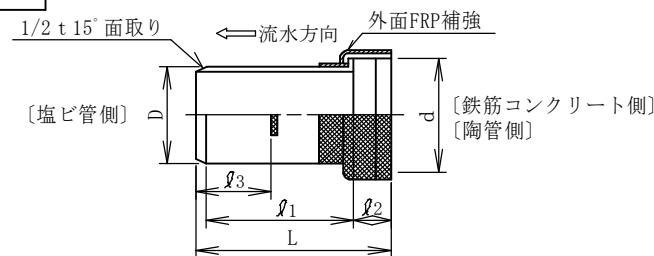


単位(mm)

呼び径	L	l1	l2
150	476.2	156	156
200	449.0	130	135
250	550.6	150	155

(注) 1. 上記寸法は、参考値である。

## 媒介継手



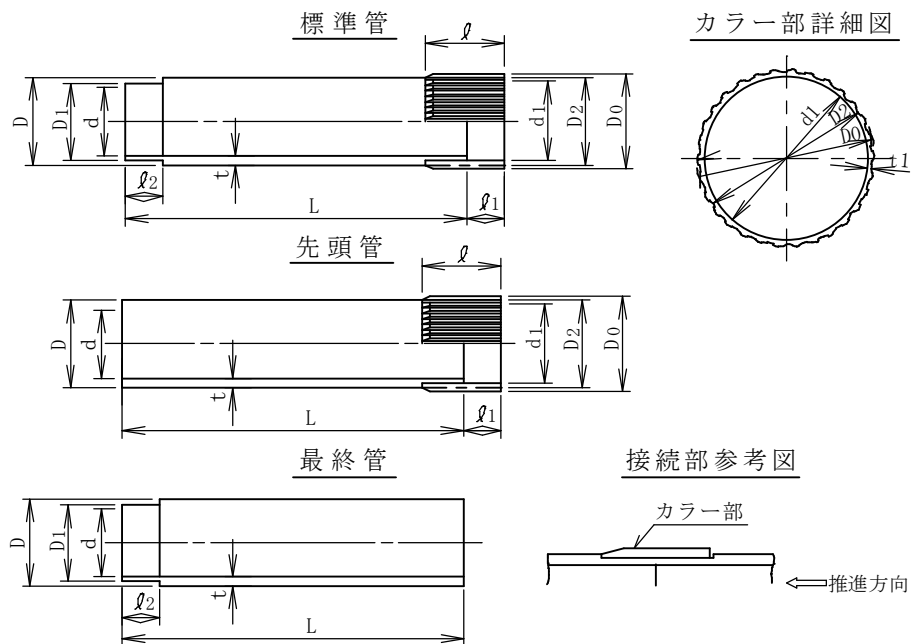
単位(mm)

呼び径	L	l1	l2	l3	D	d
150	361	250	100	157	165	206
200	414	300	100	139	216	258
250	417	300	100	160	267	310
300	445	325	100	180	318	364

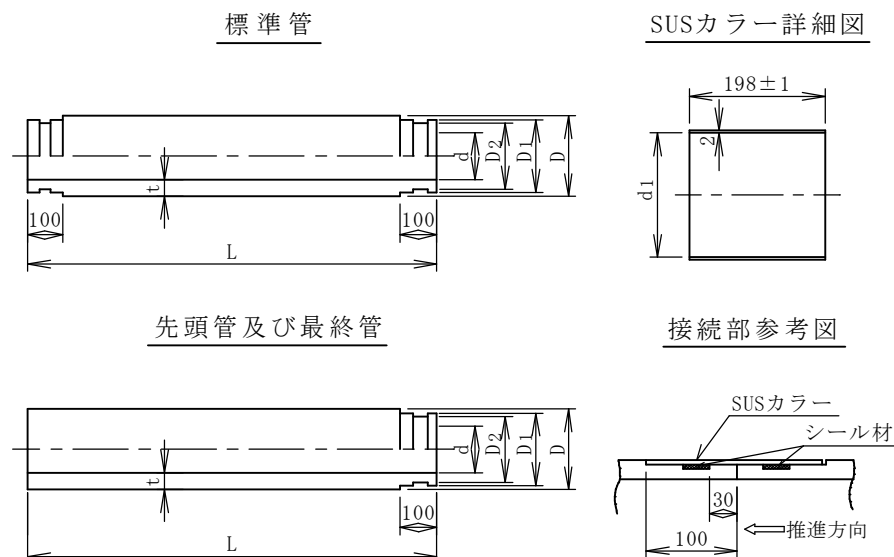
(注) 1. 使用原管は、JISK6741(硬質塩化ビニル管)のVU管とします。  
 2. 流水の方向は、塩ビ管から鉄筋コンクリート管とします。  
 3. 上記寸法は、参考値である。

## 小口径管推進工法用塩化ビニル管寸法表

接着形リブカラー付直管VU(略号STRS)



ゴム輪形SUSカラー付直管VP(略号SUSR)



単位 (mm)

呼び径	D	D1	D0 (参考)	D2 (参考)	d1	d (参考)	ℓ (参考)	ℓ1	ℓ2	t	t1 (最小)	L
150	165±0.5	161±0.5	171.0	167	162.1±0.5	154	160	79.0 <sup>0</sup> <sub>-3.5</sub>	81.0 <sup>+3.5</sup> <sub>0</sub>	5.1 <sup>+0.8</sup> <sub>0</sub>	2.0	1000±3
200	216±0.7	210±0.7	222.0	218	211.4±0.6	202	230	114.0 <sup>0</sup> <sub>-3.5</sub>	116.0 <sup>+3.5</sup> <sub>0</sub>	6.5 <sup>+1.0</sup> <sub>0</sub>	3.0	1000±3
250	267±0.9	261±0.9	273.4	269	262.6±0.6	250	280	139.0 <sup>0</sup> <sub>-3.5</sub>	141.0 <sup>+3.5</sup> <sub>0</sub>	7.8 <sup>+1.2</sup> <sub>0</sub>	3.0	
300	318±1.0	310±1.0	326.0	319	311.8±0.7	298	330	164.0 <sup>0</sup> <sub>-3.5</sub>	166.0 <sup>+3.5</sup> <sub>0</sub>	9.2 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>	3.5	
350	370±1.2	362±1.0	379.0	372	364.0±0.7	348	400	198.5 <sup>0</sup> <sub>-3.5</sub>	201.5 <sup>+3.5</sup> <sub>0</sub>	10.5 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>	3.5	2000±5
400	420±1.3	410±1.1	430.0	422	412.2±0.8	395	440	218.5 <sup>0</sup> <sub>-3.5</sub>	221.5 <sup>+3.5</sup> <sub>0</sub>	11.8 <sup>+1.6</sup> <sub>0</sub>	4.5	
450	470±1.5	458±1.3	480.0	472	460.6±0.9	442	500	248.5 <sup>0</sup> <sub>-3.5</sub>	251.5 <sup>+3.5</sup> <sub>0</sub>	13.2 <sup>+1.8</sup> <sub>0</sub>	5.0	

- (注) 1. D、D1及びd1は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値又は円周測定値を円周率3.142で除した値をいう。  
 2. 先頭管とは先導体に接続する管で、最終管とは推進時の最後に使用する管である。また、標準管とはその間の推進時に使用する管をいう。  
 3. 差し口先端部は、糸面取りとする。

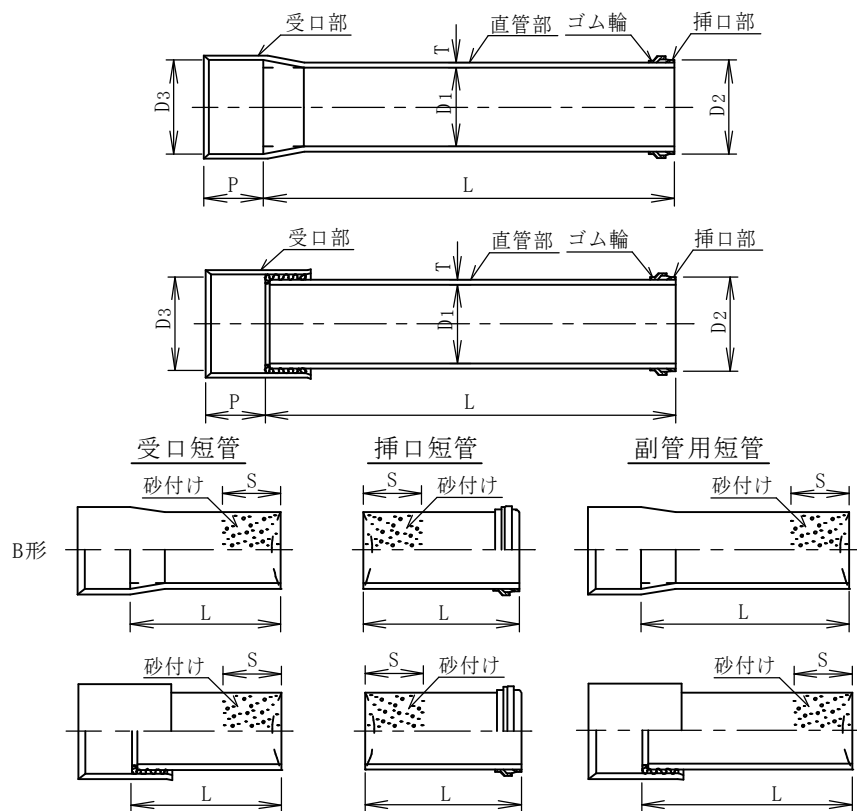
単位 (mm)

呼び径	D	D1	D2	d (参考)	d1	t	L
150	165±0.5	160 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	154 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	146	161.3±0.5	8.9 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>	1000±3
200	216±0.7	211 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	205 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	194	212.3±0.5	10.3 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>	1000±3
250	267±0.9	262 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	256 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	240	263.3±0.5	12.7 <sup>+1.8</sup> <sub>0</sub>	
300	318±1.0	313 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	307 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	286	314.3±0.5	15.1 <sup>+2.2</sup> <sub>0</sub>	
350	370±1.2	365 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	359 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	339	366.7±0.5	14.3 <sup>+2.0</sup> <sub>0</sub>	2000±5
400	420±1.3	415 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	409 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	385	416.7±0.5	16.2 <sup>+2.2</sup> <sub>0</sub>	
450	470±1.5	465 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	459 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	431	466.7±0.5	18.1 <sup>+2.6</sup> <sub>0</sub>	

- (注) 1. D、D1及びd1は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値又は円周測定値を円周率3.142で除した値をいう。  
 2. 先頭管とは先導体に接続する管で、最終管とは推進時の最後に使用する管である。また、標準管とはその間の推進時に使用する管をいう。  
 3. 差し口先端部は、糸面取りとする。

## 下水道用強化プラスチック複合管寸法表

### 直管 (B形)



単位 (mm)

呼び径	受口短管		挿口短管		副管用短管	
	有効長 (標準) L	砂付け長さ (参考) S	有効長 (標準) L	砂付け長さ (参考) S	有効長 (標準) L	砂付け長さ (参考) S
200~350	500	250	500	250	1000	250
400~700	750	300	750	300	1250	300
800~1350	1000	400	1000	400	1500	400
1500~2000	1500	600	1500	600	2000	600
2200~3000	2000	800	2000	800	—	—

(注) 厚さ(T)、内径(D1)、挿口部外径(D2)、受口部内径(D3)、及び受口部長さ(P)は、直管の同じ呼び径の寸法とする。  
また、破線で示す形状であってもよい。

単位(mm)

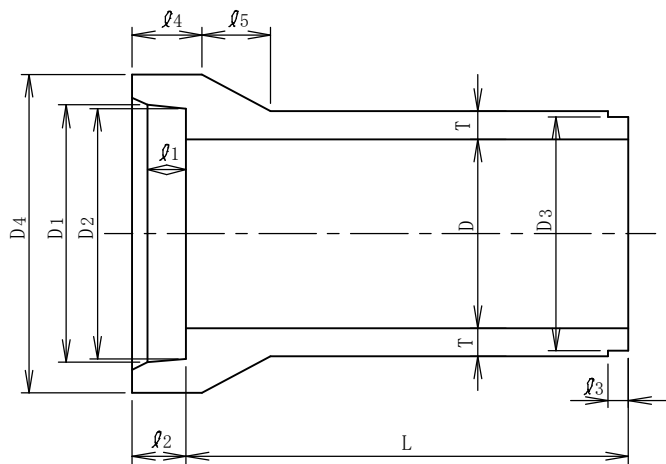
呼び径	厚さ		有効長		内径		挿口部 外径		受口部			
	T	許容差	L	許容差	D1	許容差	D2	許容差	内径		長さ	
									D3	許容差	P	許容差
200	7.0				200		229		230.5		140	
250	7.5				250		280		281.5			
300	8.0	+3			300	±1.5	331	±1.0	332.5	±1.0	150	±5
350	8.5	-0			350		382		383.5			
400	9.0				400		434		435.5		160	
450	9.5				450		485		486.5			
500	10.0				500		541		542.5			
600	12.0				600		645		646.5		200	
700	14.0				700		749		750.5			
800	16.0				800		856		857.5			
900	18.0	+5	4000	+30	900		960	±1.5	961.5	±1.5		
1000	20.0	-0		-10	1000		1068		1069.5		220	
1100	22.0				1100		1172		1173.5			
1200	24.0				1200		1276		1277.5			
1350	27.0				1350		1432		1433.5			
1500	30.0				1500	±3.0	1588		1589.5		250	±10
1650	33.0				1650		1748		1749.5		300	
1800	36.0				1800		1904		1905.5			
2000	40.0				2000		2112		2113.5		330	
2200	44.0	+7			2200		2320	±2.0	2321.5	±2.0		
2400	48.0	-0			2400		2532		2533.5		400	
2600	52.0				2600		2740		2741.5			
2800	56.0				2800		2948		2949.5		430	
3000	60.0				3000		3156		3157.5			

- (注) 1. 破線で示す形状であってもよい。  
 2. 有効長(L)は、4000mm以下の他の長さとしてすることができる。  
 3. 内径(D1)及び受口部内径(D3)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の内径測定値の算術平均値とする。  
 4. 挿口部外径(D2)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の外径測定値の算術平均値あるいは円周長を円周率3.1416で除した値とする。

## 遠心力鉄筋コンクリート管(B形)寸法表

単位(mm)

呼び径	内径 D	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	D <sub>3</sub>	D <sub>4</sub>	厚さ T	ℓ <sub>1</sub>	ℓ <sub>2</sub>	ℓ <sub>3</sub>	ℓ <sub>4</sub>	ℓ <sub>5</sub>	有効長 L	参考重量 (kg)
150	150	210	206	194	262	26	65	90	32	115	50	2000	77
200	200	262	258	246	316	27	65	90	32	115	55	2000	103
250	250	314	310	298	370	28	65	90	32	120	60	2000	131
300	300	368	364	350	424	30	65	90	36	120	60	2000	165
350	350	422	418	404	482	32	65	90	36	120	65	2000	204
400	400	478	474	460	544	35	70	95	36	125	70	2430	306
450	450	534	530	516	606	38	70	95	36	125	75	2430	373
500	500	592	588	574	672	42	70	95	36	130	85	2430	459
600	600	708	704	690	804	50	75	100	36	135	100	2430	660
700	700	824	820	802	936	58	75	105	40	140	115	2430	899
800	800	940	936	918	1068	66	80	110	40	150	130	2430	1170
900	900	1058	1054	1036	1204	75	85	115	40	160	150	2430	1520
1000	1000	1172	1168	1150	1332	82	96	120	40	165	165	2430	1850
1100	1100	1286	1282	1260	1458	88	100	125	42	175	175	2430	2190
1200	1200	1400	1396	1374	1586	95	104	130	42	185	190	2430	2600
1350	1350	1566	1562	1540	1768	103	108	135	42	195	205	2430	3190



(注) 1. 呼び径150～350の管の有効長は1000m/m  
 呼び径400～1350の管の有効長は1200m/mとすることができる。

※ 参考

下水道用鉄筋コンクリート管の種類

単位(mm)

外圧強さ	呼び径		
	B形	C形	NC形
1種	150～1350	1500～3000	1500～3000
2種	150～1350	1500～3000	1500～3000
3種	—	—	1500～3000

寸法の許容差 B形

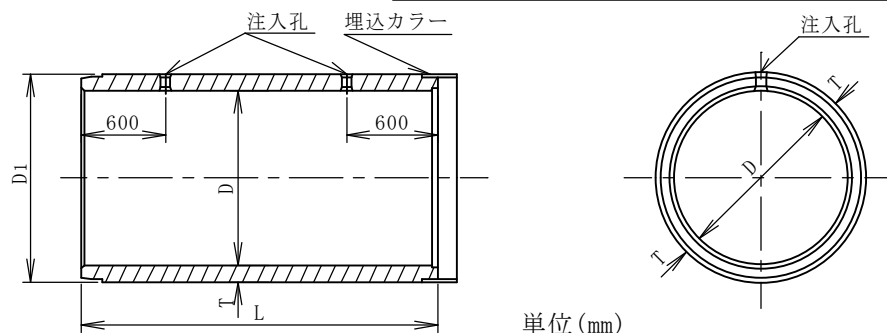
単位(mm)

呼び径	内径 D	D <sub>1</sub>	D <sub>3</sub>	厚さ T	ℓ <sub>2</sub>	ℓ <sub>3</sub>	有効長 L
150～250	±3	±2	±2	+3 -2	±5	±4	+10 -5
300～600	±4			+4 -2			
700～900		+3					
1000～1350	±6	-2	+6 -3	±5			

(注) 1. 上表は、JIS A5303による。



## 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管(標準管)寸法表



呼び径	内径 D	D <sub>1</sub>	πD <sub>1</sub>	厚さ T	有効長 L
800	800±4	933 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	2931±3	80 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	2430 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>
900	900±6	1053 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	3308±3	90 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>	
1000	1000±6	1173 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	3685±3	100 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>	
1100	1100±6	1283 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	4031±3	105 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>	
1200	1200±6	1403 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	4408±3	115 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>	
1350	1350±8	1563 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	4910±6	125 <sup>+8</sup> <sub>-4</sub>	
1500	1500±8	1743 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	5476±6	140 <sup>+8</sup> <sub>-4</sub>	
1650	1650±8	1913 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	6010±6	150 <sup>+8</sup> <sub>-4</sub>	
1800	1800±10	2083 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	6544±6	160 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	
2000	2000±10	2313 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	7267±6	175 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	
2200	2200±10	2543 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	7989±6	190 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	
2400	2400±12	2763 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	8680±9	205 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>	
2600	2600±12	2993 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	9403±9	220 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>	
2800	2800±12	3223 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	10125±9	235 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>	
3000	3000±12	3453 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	10848±9	250 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>	

- (注) 1. 標準管の有効長は、2430<sup>+10</sup><sub>-5</sub>とすることができる。  
 2. 標準管の形状は、カラーなしとすることができる。ただし、有効長は2430<sup>+10</sup><sub>-20</sub>、1200<sup>+10</sup><sub>-20</sub>とする。  
 3. 有効長の最大と最小との差は3mm以内とする。  
 4. 呼び径1000以上の標準管には、緊結用埋込みナットを付けることができる。  
 5. 注入孔の数及び位置は必要に応じて変更することができる。  
 6. 上表は、JSWAS A-2による。

### 管の種類

		管の種類		単位(mm)	
種類	種類の記号	呼び径の範囲			
標準管	1種-500	E1-5	800~3000		
	1種-700	E1-7			
	2種-500	E2-5			
中押管	S		1000~3000		
	T	1種-500			ET1-5
		2種-500			ET2-5

(注) 1. 中押管はSとTを1組として使用する。

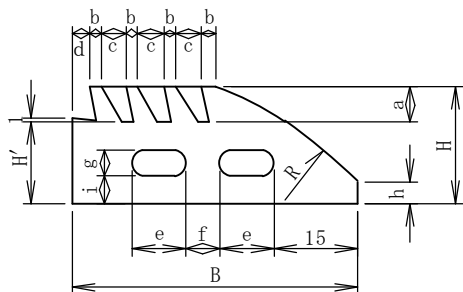
### 管の外圧強さ

(単位: kgf/m {kN/m})

呼び径	ひび割れ荷重		破壊荷重	
	1種	2種	1種	2種
800	3600 {35.30}	7200 {70.61}	5900 {57.86}	10800 {105.91}
900	3900 {38.25}	7800 {76.49}	6600 {64.72}	11700 {114.74}
1000	4200 {41.19}	8400 {82.38}	7300 {71.59}	12600 {123.56}
1100	4350 {42.68}	8700 {85.32}	8000 {78.45}	13000 {127.49}
1200	4500 {44.13}	9000 {88.26}	8800 {86.30}	13500 {132.39}
1350	4800 {47.07}	9600 {94.14}	10000 {98.07}	14400 {141.22}
1500	5100 {50.01}	10200 {100.03}	11200 {109.83}	15300 {150.04}
1650	5400 {52.96}	10800 {105.91}	12400 {121.60}	16200 {158.87}
1800	5700 {55.90}	11400 {111.80}	13600 {133.37}	17100 {167.69}
2000	6000 {58.84}	12000 {117.68}	14400 {141.22}	18000 {176.52}
2200	6300 {61.78}	12600 {123.56}	15100 {148.08}	18900 {185.35}
2400	6600 {64.72}	13200 {129.45}	15800 {154.95}	19800 {194.17}
2600	6900 {67.67}	13800 {135.33}	16600 {162.79}	20700 {203.00}
2800	7200 {70.61}	14400 {141.22}	17300 {169.66}	21600 {211.82}
3000	7500 {73.55}	15000 {147.10}	18000 {176.52}	22500 {220.65}

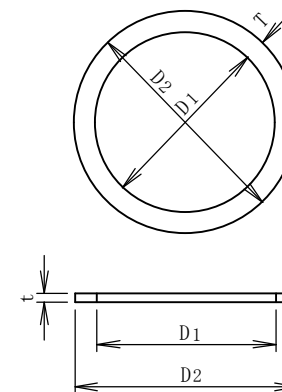
- (注) 1. ひび割れ荷重とは、管に幅0.5mmのひび割れを生じたときの試験機が示す荷重を有効長(L)で除した値をいい、破壊荷重とは、試験機が示す最大荷重を有効長(L)で除した値をいう。  
 2. 中押し管についてはTのみ、ひび割れ荷重を適用する。

## 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管(ゴム輪、クッション材の形状)寸法表



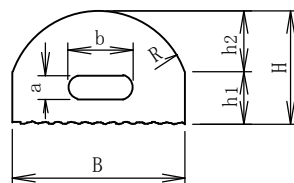
単位 (mm)

呼び径	B	H	H'	h	a	b	c	d	e	f	g	i	R	長さ L
800~1000	50	15	10	2	5	2	4	3	10	5	4	3	80	ゴム輪装着部周長の85%
1350~2200		20	14	3	6		4.5							
2400~3000	60	23.5	16.5	5	7	2.5	5	3.5	12	8	5	5	100	



単位 (mm)

呼び径	内径 D1	外径 D2	幅 T
800	830	944	57
900	930	1064	67
1000	1030	1184	77
1100	1130	1294	82
1200	1230	1414	92
1350	1380	1578	99
1500	1530	1758	114
1650	1680	1928	124
1800	1830	2098	134
2000	2030	2328	149
2200	2230	2558	164
2400	2430	2780	175
2600	2630	3010	190
2800	2830	3240	205
3000	3030	3470	220



単位 (mm)

呼び径	B	H	h1	h2	a	b	R	長さ L
1000~1200	26	13	6	7	3	9	15	ゴム輪装着部周長の90%
1350~2200	30	19	9	10	4	11	16	
2400~3000	34	22.5	11.5	11	4.5	12	18	

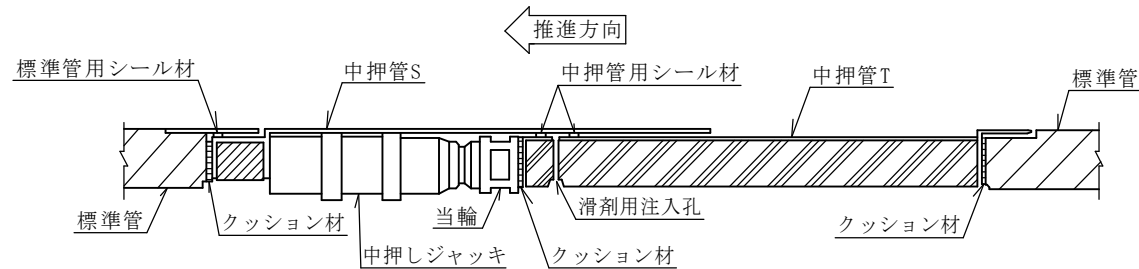
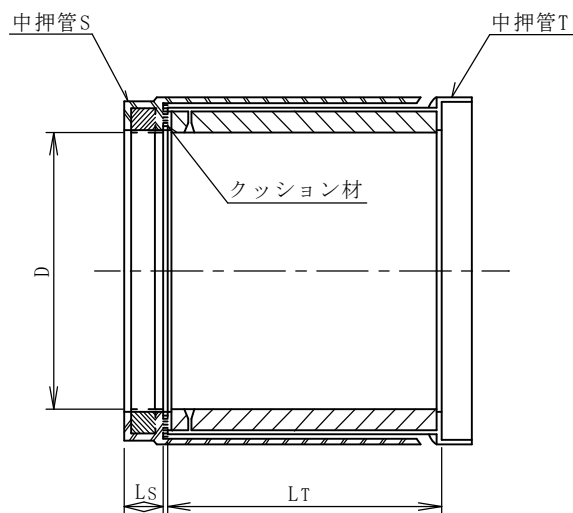
単位 (mm)

種類	呼び径	B	H	L (%)
標準管用	800~3000	±2.0	±0.5	±1.0
中押管用	1000~3000	±1.0		

※ゴム輪、クッション材の形状及び寸法については、JSWAS A-2(参考資料)による。

(注) 1. クッション材の厚さ(t)は8~12mmが一般的である。なお、作業性、経済性を考慮し、円周方向に適当な数に分割してもよい。

## 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管(中押管)寸法表



中押管の長さ(1組) 単位(mm)

呼び径	中押管Sの有効長LS	中押管Tの有効長LT	中押管の長さ
1000	150	1150	1310
1100			1315
1200			1365
1350	155	1200	1370
1500			1440
1650			1440
1800	160	1250	1440
2000			1440
2200			1440
2400			1440
2600			1440
2800	180	1250	1440
3000			1440

中押ジャッキの諸元及び当輪の厚さ

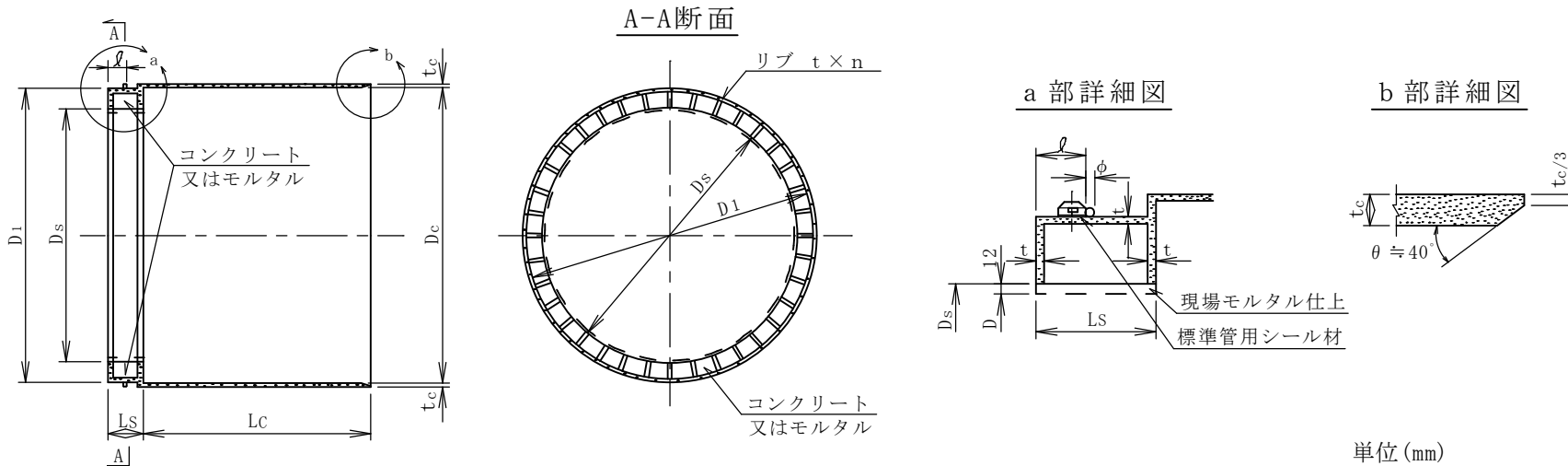
単位(mm)

呼び径	ジャッキ				当輪の厚さ
	推力(t)	ストローク	外径	長さ	
1000~1200	30	300	135	525	70
1350~2200	50		165	550	82
2400~3000	100		225	580	94

(注) 1. ジャッキの寸法は、メーカーによって多少異なるので、最大のものを示す。

(注) 1. 中押管の長さにはクッション材の厚さ(10mm)を考慮している。

## 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管(中押管S)寸法表

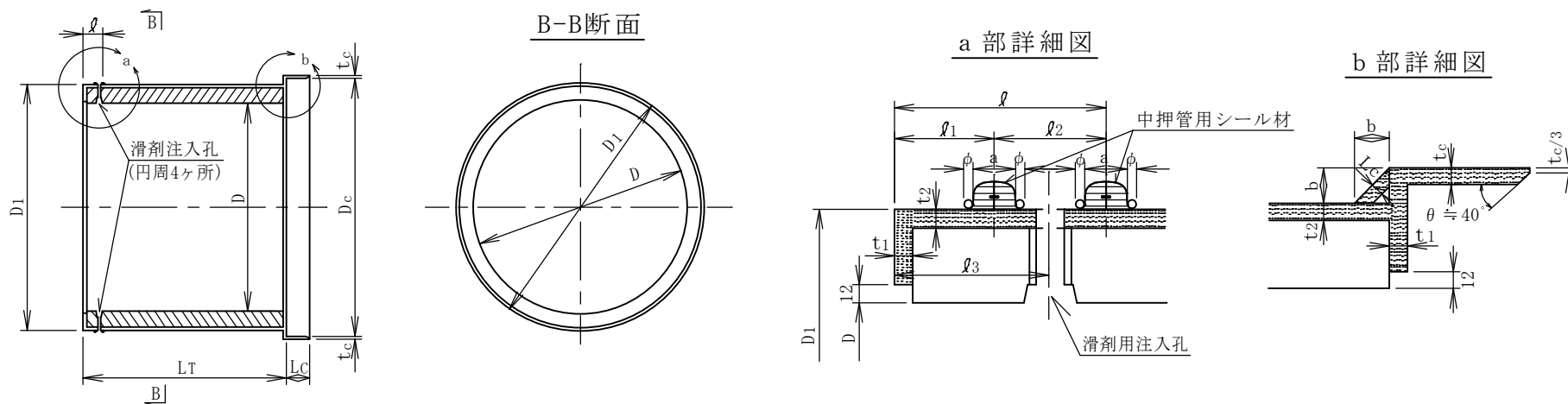


単位 (mm)

呼び径	内径 D	D <sub>s</sub>	D <sub>1</sub>	$\pi \times D_1$	D <sub>c</sub>	$\pi(D_c+2t_c)$	有効長 L <sub>s</sub>	L <sub>c</sub>	$\ell$	t <sub>c</sub>	t	$\phi$	リブ n (枚)	
1000	1000	1024	1173 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	3685 ± 3	1182	3770 ± 3	150 ± 2	1100 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	60	9	16	6	28	
1100	1100	1124	1283 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	4031 ± 3	1292	4115 ± 3								
1200	1200	1224	1403 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	4408 ± 3	1406	4492 ± 3	155 ± 2	1150 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	60	12	19	9	36	
1350	1350	1374	1563 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	4910 ± 6	1576	5027 ± 5								
1500	1500	1524	1743 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	5476 ± 6	1756	5592 ± 5	160 ± 2	1150 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	60	12	22	9	40	
1650	1650	1674	1913 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	6010 ± 6	1926	6126 ± 5								
1800	1800	1824	2083 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	6544 ± 6	2096	6660 ± 5	180 ± 2	1200 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	70	16	25	9	44	
2000	2000	2024	2313 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	7267 ± 6	2326	7383 ± 5								
2200	2200	2224	2543 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	7989 ± 6	2556	8105 ± 5	180 ± 2	1200 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	70	16	25	9	48	
2400	2400	2424	2763 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	8680 ± 9	2778	8828 ± 5								
2600	2600	2624	2993 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	9403 ± 9	3008	9550 ± 5	180 ± 2	1200 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	70	16	25	9	52	
2800	2800	2824	3223 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	10125 ± 9	3238	10273 ± 5								
3000	3000	3024	3453 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	10848 ± 9	3468	10996 ± 9	180 ± 2	1200 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	70	16	25	9	58	
														64
														72
														78
														84
														90

(注) 1. 上表は、JSWAS A-2による。

## 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管(中押管T)寸法表



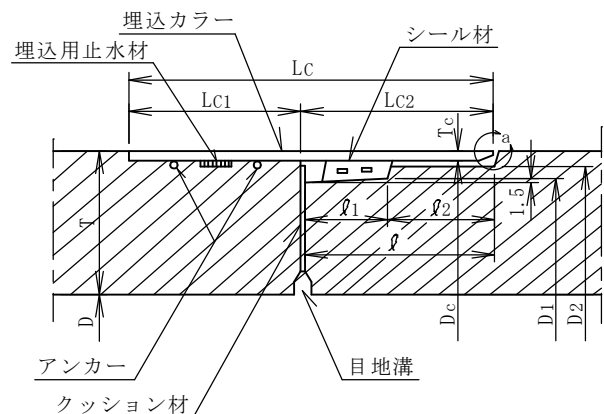
単位 (mm)

呼び径	内径 D	D <sub>1</sub>	$\pi \times D_1$	D <sub>c</sub>	$\pi(D_c + 2t_c)$	有効長 L <sub>T</sub>	L <sub>c</sub>	l	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	a	b	t <sub>c</sub>	t <sub>1</sub>	t <sub>2</sub>	φ
1000	1000 ± 6	1164 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	3657 ± 3	1191	3770 ± 3	1150 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	130 ± 2	125	60	65	92.5	26	18	4.5	9	6	6
1100	1100 ± 6	1274 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	4002 ± 3	1301	4115 ± 3								21				
1200	1200 ± 6	1388 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	4361 ± 3	1421	4492 ± 3												
1350	1350 ± 8	1551 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	4873 ± 6	1588	5027 ± 5	1200 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	140	65	75	102.5	30	24	6	6	9	9	
1500	1500 ± 8	1731 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	5438 ± 6	1768	5592 ± 5												
1650	1650 ± 8	1901 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	5972 ± 6	1938	6126 ± 5												
1800	1800 ± 10	2071 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	6506 ± 6	2108	6660 ± 5												
2000	2000 ± 10	2301 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	7229 ± 6	2338	7383 ± 5												
2200	2200 ± 10	2531 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	7951 ± 6	2568	8105 ± 5	1250 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	150 ± 2	150	70	80	110	34	30	9	12	9	
2400	2400 ± 12	2749 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	8636 ± 9	2792	8828 ± 5												
2600	2600 ± 12	2979 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	9359 ± 9	3022	9550 ± 5												
2800	2800 ± 12	3209 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	10081 ± 9	3252	10273 ± 5												
3000	3000 ± 12	3439 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	10804 ± 9	3482	10996 ± 9												

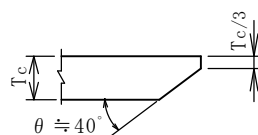
(注) 1. 上表は、JSWA A-2による。

## 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管詳細寸法表

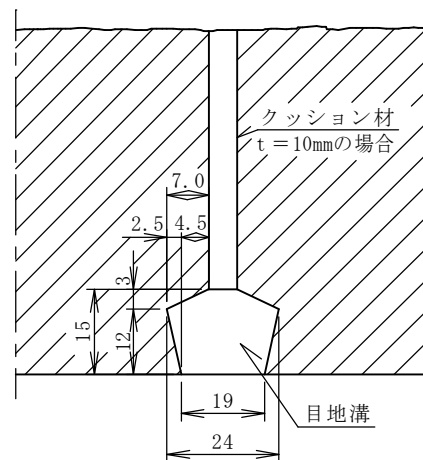
継手部詳細図



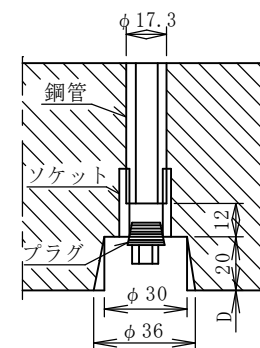
a 部詳細図



目地溝の形状



滑剤用注入孔の形状



単位 (mm)

呼び径	Lc1	Lc2	Lc	tc	Dc	$\pi(Dc+2tc)$	D2	l	l1	l2		
800	120	130±2	250 <sup>+5</sup> <sub>-2</sub>	4.5	951	3016±3	942	132±2	60	72		
900					1071	3393±3	1062					
1000					1191	3770±3	1182					
1100					1301	4115±3	1292					
1200					1421	4492±3	1412					
1350				6	150±2	300 <sup>+5</sup> <sub>-2</sub>	1588				5027±5	1577
1500							1768				5592±5	1757
1650							1938				6126±5	1927
1800							2108				6660±5	2097
2000							2338				7383±5	2327
2200	9	150±2	300 <sup>+5</sup> <sub>-2</sub>	2568	8105±5	2557						
2400				2792	8828±5	2779						
2600				3022	9550±5	3009						
2800				3252	10273±5	3239						
3000				3482	10996±5	3469						

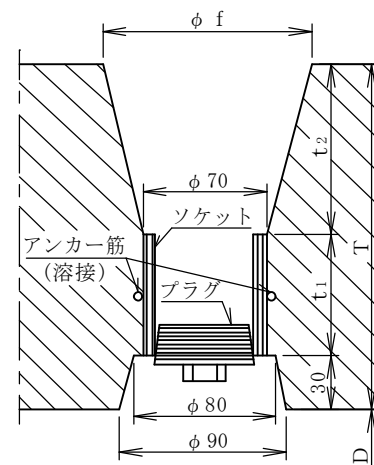
(注) 1. 上表は、JSWAS A-2による。

注入孔の寸法 単位 (mm)

呼び径	厚さ T	t1	t2	phi f
800	80	30	20	90
900	90	30	30	90
1000	100	60	10	90
1100	105	60	15	90
1200	115	60	25	90
1350	125	60	35	100
1500	140	60	50	100
1650	150	60	60	100
1800	160	60	70	100
2000	175	60	85	100
2200	190	60	100	100
2400	205	60	115	110
2600	220	60	130	110
2800	235	60	145	110
3000	250	60	160	110

(注) 1. 上表は、JSWAS A-2による。

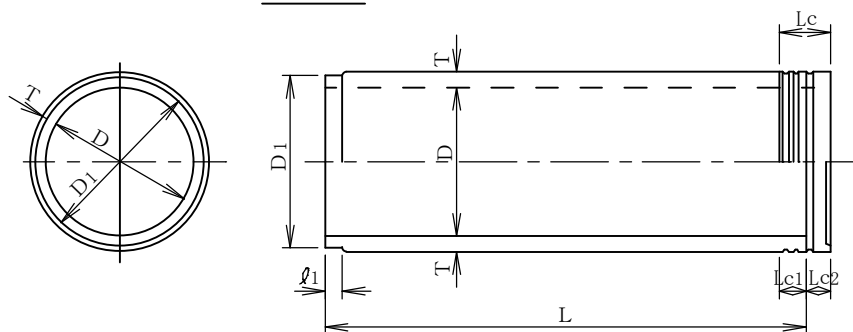
注入孔の形状



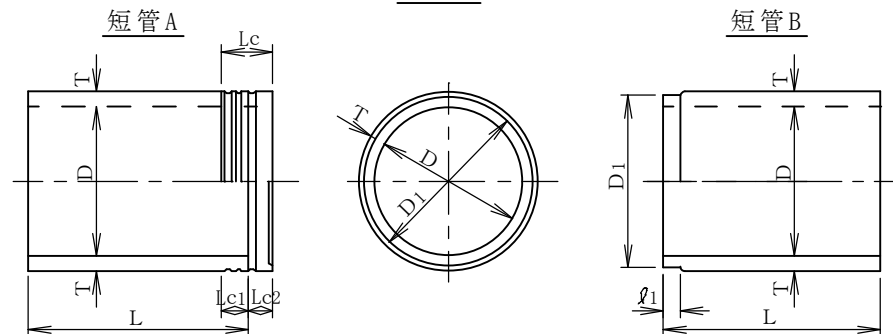
(注) 1. プラグの形状は、テーパをつけていないものとする。

# 小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管寸法表(1)

標準管



短管



単位(mm)

単位(mm)

呼び径	内径 D	D <sub>1</sub>	π × D <sub>1</sub>	厚さ T	有効長 L	l <sub>1</sub>
250	250 ± 3	340 ± 2	1068 ± 3	55 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	2000 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	51 <sup>+3</sup> <sub>-1</sub>
300	300 ± 4	394 ± 2	1238 ± 3	57 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		
350	350 ± 4	450 ± 2	1414 ± 3	60 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	2430 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	
400	400 ± 4	506 ± 2	1590 ± 3	63 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		
450	450 ± 4	564 ± 2	1772 ± 3	67 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		
500	500 ± 4	620 ± 2	1948 ± 3	70 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		
600	600 ± 4	736 ± 2	2312 ± 3	80 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		
700	700 ± 4	856 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	2689 ± 3	90 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		

呼び径	内径 D	D <sub>1</sub>	π × D <sub>1</sub>	厚さ T	有効長 L	l <sub>1</sub>
250	250 ± 3	340 ± 2	1068 ± 3	55 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	990 <sup>+20</sup> <sub>-10</sub>	51 <sup>+3</sup> <sub>-1</sub>
300	300 ± 4	394 ± 2	1238 ± 3	57 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		
350	350 ± 4	450 ± 2	1214 ± 3	60 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	1200 <sup>+20</sup> <sub>-10</sub>	
400	400 ± 4	506 ± 2	1590 ± 3	63 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		
450	450 ± 4	564 ± 2	1772 ± 3	67 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		
500	500 ± 4	620 ± 2	1948 ± 3	70 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		
600	600 ± 4	736 ± 2	2312 ± 3	80 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		
700	700 ± 4	856 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	2689 ± 3	90 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		

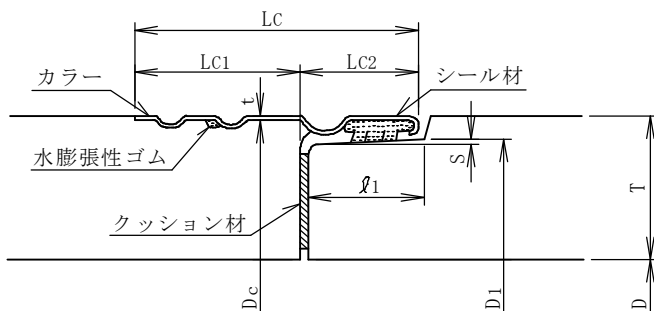
管の種類

形状	種類			種類の記号	呼び径の範囲
	外圧強さ	圧縮強度	継手性能		
標準管	1種	50	SJS SJA SJB	X51	200~700
		70		X71	
短管A	2種	50		X-A51	
		50		X-A52	
短管B	2種	50	X-B51		
		50	X-B52		

(注) 1. 有効長(L)は、呼び径250及び300については1000mm、呼び径350~700については1200mmとすることができる。  
 2. 上表は、JSWAS A-6による。

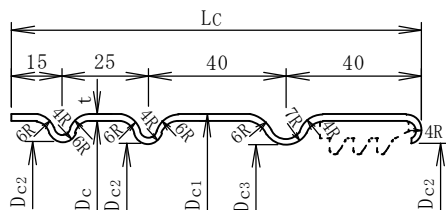
(注) 1. 種類の記号のXは、継手性能のSJS、SJA及びSJBのいずれかを示す。  
 2. 継手とは、受口及び差し口を組み合わせたものをいう。  
 3. 継手性能は、表-3に示す。  
 4. X71には、縦方向に異形棒鋼を配筋する。

## 小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管寸法表(2)

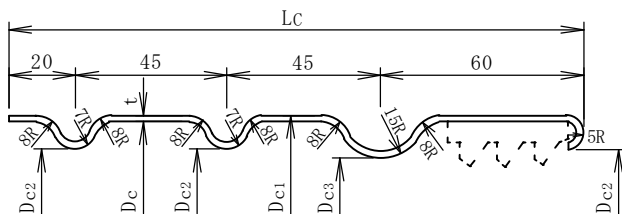


### カラー詳細

呼び径250～300



呼び径600及び700



### 継手部寸法表

単位(mm)

呼び径	Lc	Lc1	Lc2	t	Dc	$\pi(Dc+2tc)$	Dc1	Dc2	Dc3	S
250	120 $\begin{smallmatrix} +5 \\ -2 \end{smallmatrix}$	70	50±2	1.5	355	1125±3	358	342	339	1.5
300					409	1294±3	412	396	393	
350					465	1470±3	468	452	449	
400					521	1646±3	524	508	505	
450					579	1828±3	582	566	563	
500	170 $\begin{smallmatrix} +5 \\ -2 \end{smallmatrix}$	90	80±2	2.0	635	2004±3	638	622	619	2.5
600					754	2381±3	758	738	735	
700					874	2758±3	878	858	855	

(注)1. カラーは、JIS G 4305または、JIS G 4307に規定するSUS316、SUS304N1とする。

### 管の外圧強さ

(単位:kgf/m {kN/m})

呼び径	ひび割れ荷重	破壊荷重
250	3300 {32.36}	5000 {49.03}
300	3500 {34.32}	5300 {51.98}
350	3800 {37.27}	5700 {55.90}
400	4000 {39.23}	6000 {58.84}
450	4300 {42.17}	6500 {63.74}
500	4500 {44.13}	6800 {66.69}
600	4700 {46.09}	7100 {69.63}
700	4900 {48.05}	7400 {72.57}

(注)1. ひび割れ荷重とは、管に幅0.05mmのひび割れを生じたときの試験機が示す荷重を有効長(L)で除した値をいい、破壊荷重とは、試験機が示す最大荷重を有効長(L)で除した値をいう。

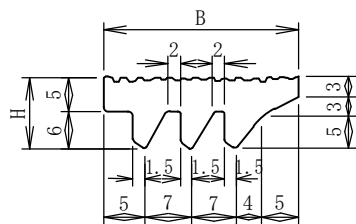


# 小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管(ゴム輪・クッション材の形状)寸法表

形状及び寸法

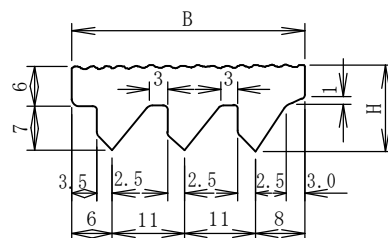
## ゴム輪の形状及び寸法

呼び径250～500



呼び径600、700

単位 (mm)

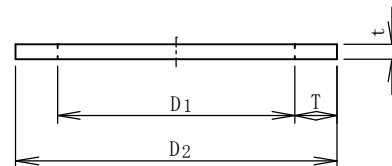
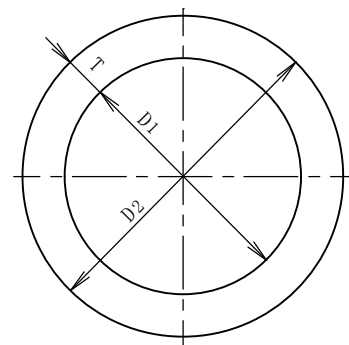


単位 (mm)

呼び径	B	H	周長
250	28	11	1135
300			1310
350			1485
400			1665
450			1850
500	36	13	2030
600			2415
700			2800

(注) 1. 周長はカラー内周長×1.02

## クッション材の形状及び寸法



単位 (mm)

呼び径	内径 D <sub>1</sub>	外径 D <sub>2</sub>	幅 T	厚さ t
250	260	330	35	3~ 4.5
300	310	384	37	
350	360	440	40	
400	410	496	43	
450	460	554	47	
500	510	610	50	6~ 10
600	610	726	58	
700	710	846	68	

備考 現在使用されている材質としては、合板、スチロール樹脂、パーティクルボード、硬質繊維板等がある。

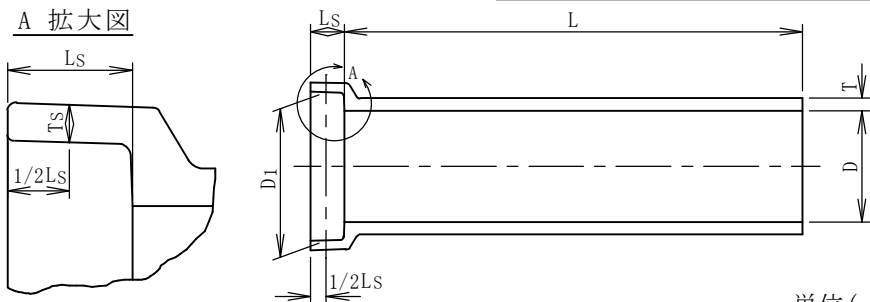
寸法の許容差

## 寸法の許容差 単位 (mm)

呼び径	H	B	周長(%)
250～500	±0.5	±1.0	±1.0
600～700			

※ゴム輪、クッション材の形状及び寸法については、JSWAS A-6(参考資料)による。

### 厚陶管(直管)及びA型圧縮ジョイント寸法表



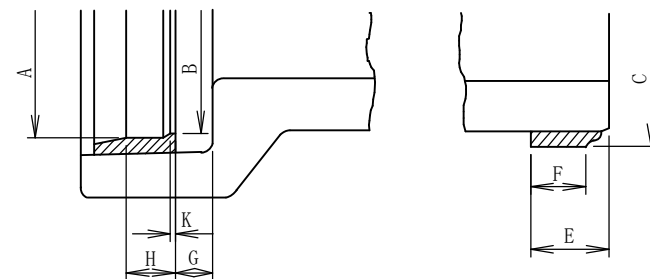
単位(mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	受口内径 D1	受口厚さ Ts	受口深さ Ls	有効長 L	反り (mm/m)	参考重量 (kg)
150	150±4	19 <sup>+2</sup> <sub>-0</sub>	215±10	18±2	60±5	660 1000	4以下	17 26
200	200±5	23 <sup>+2</sup> <sub>-0</sub>	280±13	22±3	66±5	660 1000 1500		27 38 55
250	250±5	26 <sup>+3</sup> <sub>-0</sub>	340±15	25±3	70±5	1000		54 80 106
300	300±6	29 <sup>+3</sup> <sub>-0</sub>	400±18	28±3	75±5			75 107 139
350	350±7	32 <sup>+3</sup> <sub>-0</sub>	460±20	32±4				1500
400	400±8	35 <sup>+4</sup> <sub>-0</sub>	520±25	35±4	2000			119 171 223
450	450±9	38 <sup>+4</sup> <sub>-0</sub>	585±30	38±4				200 255

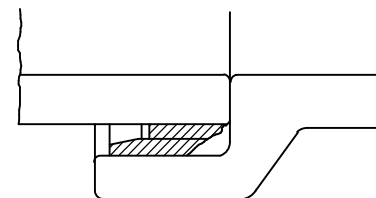
- (注) 1. 受口内径(D1)及び受口厚さ(Ts)は、受口深さ(Ls)の約1/2の位置の寸法とする。  
 2. 有効長(L)の許容差は、-1%~+2%とする。  
 3. 上表は、JIS R1201による。

#### 外圧強さ、吸水率及び耐酸度

呼び径	外圧強さ (kgf/m <sup>2</sup> {kN/m <sup>2</sup> })	吸水率 (%)	耐酸度 (%)
150	2800 {27.5} 以上	9.0以下	0.25以下
200	3000 {29.4} 以上		
250	3200 {31.4} 以上		
300	3400 {33.3} 以上		
350	3600 {35.3} 以上		
400	3800 {37.3} 以上		
450	4000 {39.2} 以上		



接合図



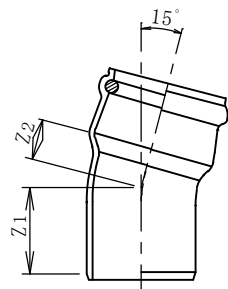
単位(mm)

管の呼び径	受口部					差し口部		
	内径		すき	利き幅	突起部幅	外径	全幅	利き幅
	A	B	G	H	K	C	E	F
150	200	196	20	20	3	201	30	15
200	262	258				265		
250	317	311	20	25	3	320	35	20
300	373	367				376		
350	432	426				435		
400	488	480				491		
450	549	541				552		

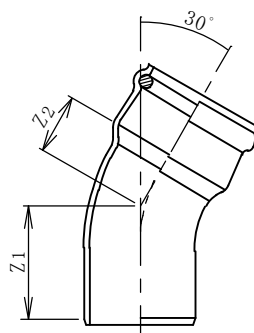
- (注) 1. 上記寸法は、標準寸法である。

## 下水道用硬質塩化ビニル管(取付管用曲管)寸法表

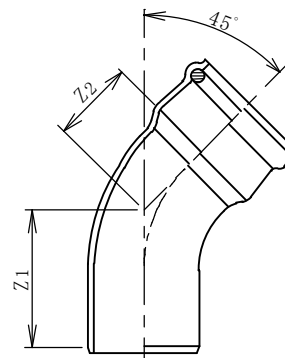
15° 曲管 (略号15SR)



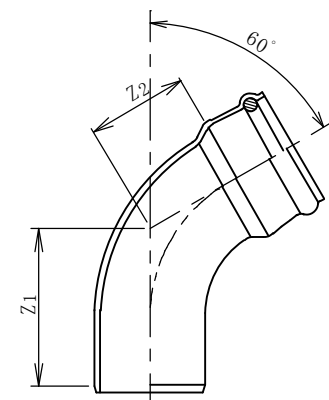
30° 曲管 (略号30SR)



45° 曲管 (略号45SR)



60° 曲管 (略号60SR)

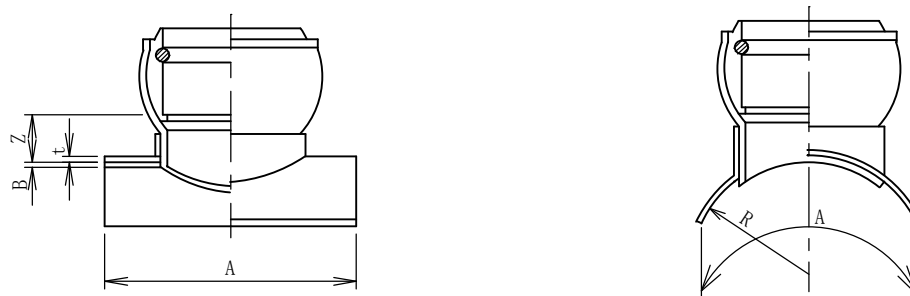


単位 (mm)

15° 曲管			30° 曲管			45° 曲管			60° 曲管		
呼び径	Z1	Z2(最小)	呼び径	Z1	Z2(最小)	呼び径	Z1	Z2(最小)	呼び径	Z1	Z2(最小)
100	110	5	100	138	5	100	167	35	100	199	55
150	129	15	150	159	15	150	191	40	150	227	60
200	149	25	200	187	25	200	228	55	200	274	75

- (注) 1. Z1の許容差は、±15mmとする。  
 2. ゴム輪受口は、取付管形とする。  
 3. 面取りの形状は、規定しない。

## 下水道用硬質塩化ビニル管(90°自在支管)寸法表



硬質塩化ビニル管用支管(取付管用) (略号90SVRF) 単位(mm)

呼び径	Z (最小)	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R	呼び径	Z (最小)	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R
150×100	—	—	—	—	—	400×100	21	4	300	6.5	108
200×100	21	4	300	6.5	108	400×150	35				
200×150	35					400×200	49				
250×100	21	4	300	7.8	133.5	450×100	21	4	300	7.8	133.5
250×150	35					450×150	35				
250×200	49					450×200	49				
300×100	21	4	300	9.2	159	500×100	21	4	300	9.2	159
300×150	35					500×150	35				
300×200	49					500×200	49				
350×100	21	4	300	10.5	185	600×100	21	4	300	10.5	185
350×150	35					600×150	35				
350×200	49					600×200	49				

鉄筋コンクリート管・陶管用支管(取付管用)  
(略号90SHRF) 単位(mm)

呼び径	Z (最小)	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R
150×100	—	—	—	—	—
200×100	21	4	205	25	127
200×150	35		255		
250×100	21	4	205	26	153
250×150	35		255		
250×200	49		300		
300×100	21	4	205	28	180
300×150	35		255		
300×200	49		300		
350×100	21	4	205	30	207
350×150	35		255		
350×200	49		300		

- (注) 1. Rは、標準値を示す。  
 2. 破線で示す形状にすることもできる。  
 3. ゴム輪受口は、取付管形(自在)とする。